

1988年9月10日

<毎月10日発行>

第113号 4頁 200円

定期購読料(送料込み)

半年 2000円、1年 4000円

赫旗

共産主義者同盟中央機関紙

発行

赤路社

二面……ビルマ・韓国情勢

三面……三里塚等

四面……消費税問題

東京都下谷郵便局私書箱180号
(関西) 大阪市港郵便局私書箱40号
郵便振替 東京 9-352128

南北分断固定化・侵略戦争準備の

ソウル五輪—日本海大演習を粉碎せよ

日帝打倒・米帝一掃へ 朝鮮人民と团结し闘おう



8月15日、秋期実行委員会結成される

九月十七日からソウル五輪が開催される。これと平行して、日米共同演習史上最大規模の日本海大演習が展開される。日本帝国主義は、ソウル五輪を「韓・日共同開催」と位置づけ、治安・軍事面を積極的に押している。

これは、日米安保体制をテコに、韓国に対する政治・軍事的影響力を認め、米帝国主義と並ぶアジアの反共反革命の頭目としての地位踏みだしたのだ。

機動隊の検問弾圧をはじめ、一時三〇分から結成集会がはじまつた。基調報告にたった高橋君は、ソウル五輪・京都国体を轟つ秋期実行委員会が戦取ますXデー状況下、闘争の靖国神社「公式参拝」がいよいよ定例化され、神道行事の国家行事化が急

速に進展していることを指摘し、

基調報告につき、菅孝行、木

次いで、五輪・国体といつたスポーツイベントの政治性と日本海大演習の戦争挑発行動を暴露し、こそXデー状況下、闘争の靖国神社「公式参拝」がいよいよ定例化され、神道行事の国家行事化が急

速に進展していることを指摘し、基調報告につき、菅孝行、木

元茂雄の氏の講演。続いて連帶発言。集会は最後行動提起と「集会宣言」の採択、シュプレヒコールをもつて終了した。ただちにスクランブル組み、靖国神社「西

神田公園へむけたデモストレーション」にうつった。他方、靖国推進側は、靖国神社

境内で「英靈にこたえる会」日本を守る国民会議主催の「戦没者追悼中央国民集会を開催。また天皇前國王序長激励集会も行われた。集会は、奥野の一連の発言を、「歴史的事実にもとづいた極めて常識的なもの」と支持し、天皇專制国家の侵略と抑圧の

一方で、日米大演習阻止集会に結集し、革命的政治闘争を闘う政治勢力の形成にむけた諸党派・グループの結束と結束を計り、十月九日、南・北・東三重環境地

トの結束と結束を計り、十月九日、南・北・東三重環境地

反靖国闘争を皮切りに、秋期政敵闘争への進撃を開始した。九月十八日、十五名ののぼった。何が竹下訪中の前の「自肃」だ。我々は、八・一五秋期実の結成に反対し、革命的政治闘争を闘う政治勢力の形成にむけた諸党派・グループの結束と結束を計り、十月九日、南・北・東三重環境地

反靖国闘争を皮切りに、秋期政敵闘争への進撃を開始した。九月十八日、十五名ののぼった。何が竹下訪中の前の「自肃」だ。

我々は、八・一五秋期実の結成に反対し、革命的政治闘争を闘う政治勢力の形成にむけた諸党派・グループの結束と結束を計り、十月九日、南・北・東三重環境地

反靖国闘争を皮切りに、秋期政敵闘争への進撃を開始した。九月十八日、十五名ののぼった。何が竹下

燃え上がるビルマ革命

(一)

ビルマは燃えている。

三月暴動、六月暴動、七月からの全土騒乱・ゼネスト、国軍を除く支配機構の崩壊、国軍兵士の反乱の始まり、地方で広がる反体制派による制圧・管理。二十六年間の独裁体制は、風前の灯となつてゐる。

この事態を決定的にしたのが、ネ・ワインの片腕として七月に六・七日に國家評議会議長兼大統領となつたセイン・ルインの血の弾圧であった。二〇〇人を超える学生・市民を虐殺することにより人民の怒りを爆発させ、統治能力を完全に喪失してしまつたのである。ネ・ワインは、半月もたなずに、この勇を引つこめるを得なくなつた。

かわって、マウン・マウンを頭に据え、妥協のボーズをとらうとして見せた。しかしビルマ人民は、マウン・マウンが八月二十四日「提示した

「複数政黨制の可否を問う国民投票」の妥協案には、「国民党投票は不要・社会主義計画党の即時廃止・複数政黨制の導入・暫定政権の即時樹立」を訴へ三百萬のゼネス

トを述べた。マウン・マウンは、九月十日、更に譲歩し「国民投票は実施しない・複数政黨制を採用する」とし、社会主義計画党とその政権樹立へ動き出したのである。

(二)

人自由連盟(AFPFL)を組織し、抗日武装蜂起を敢行、大戦後復活した英帝の植民地支配とともに

開け、一九四八年の独立を迎える。

独立後の時期、ビルマでは共

産党的武装闘争やカレン族をはじめとした少数民族の反乱が拡大していった。ネ・ワインは、そうした中で、ビルマ陸軍最高司令官となる。

アウン・サンの死後ウー・ヌー首相

率いた AFPFL が腐敗と内紛

を深めた事態に乗じて、一九六二

年クーデターをやり政権を掌握し

たのであった。

この政権は、「ビルマ式社会主

義」を標榜したが、その中味は、

「ビルマ人のためのビルマ」を指

すところである。八月二日から

二十四時間体制の「ビルマ作業

グ

」を発足させ、「援助の停

止・強権政治の非難・民主政権へ

タリア革命運動を庇護する反共・

極反動政権、それ故、國際社会で

反対の意見が多かった。これが実

現された。

正し、帝国主義からの「援助」を

受け入れることで危機をしのぐと

いう道にころがり込んだのだった

が、ここでも、他の多くの第三

世界諸國と同様に、「援助」は経

済原理とする強烈な民族排外主義

と議会制民主主義の放棄を政治的

特徴とし、国有・国営を経済的特

徴とする組織として、社会主義計画

党が結成され、独裁体制が確立さ

れたのである。

七年に孤立・中立政策を軌道修

正し、帝国主義からの「援助」を

受け入れることで危機をしのぐと

いう道にころがり込んだのだった

が、ここでも、他の多くの第三

世界諸國と同様に、「援助」は経

済原理とする強烈な民族排外主義

と議会制民主主義の放棄を政治的

特徴とし、国有・国営を経済的特

徴とする組織として、社会主義計画

党が結成され、独裁体制が確立さ

れたのである。

七年に孤立・中立政策を軌道修

正し、帝国主義からの「援助」を

受け入れることで危機をしのぐと

いう道にころがり込んだのだった

が、ここでも、他の多くの第三

世界諸國と同様に、「援助」は経

済原理とする強烈な民族排外主義

と議会制民主主義の放棄を政治的

特徴とし、国有・国営を経済的特

徴とする組織として、社会主義計画

党が結成され、独裁体制が確立さ

れたのである。

七年に孤立・中立政策を軌道修

正し、帝国主義からの「援助」を

受け入れることで危機をしのぐと

いう道にころがり込んだのだった

が、ここでも、他の多くの第三

世界諸國と同様に、「援助」は経

済原理とする強烈な民族排外主義

と議会制民主主義の放棄を政治的

特徴とし、国有・国営を経済的特

徴とする組織として、社会主義計画

党が結成され、独裁体制が確立さ

れたのである。

七年に孤立・中立政策を軌道修

正し、帝国主義からの「援助」を

受け入れることで危機をしのぐと

いう道にころがり込んだのだった

が、ここでも、他の多くの第三

世界諸國と同様に、「援助」は経

済原理とする強烈な民族排外主義

と議会制民主主義の放棄を政治的

特徴とし、国有・国営を経済的特

徴とする組織として、社会主義計画

党が結成され、独裁体制が確立さ

れたのである。

七年に孤立・中立政策を軌道修

正し、帝国主義からの「援助」を

受け入れることで危機をしのぐと

いう道にころがり込んだのだった

が、ここでも、他の多くの第三

世界諸國と同様に、「援助」は経

済原理とする強烈な民族排外主義

と議会制民主主義の放棄を政治的

特徴とし、国有・国営を経済的特

徴とする組織として、社会主義計画

党が結成され、独裁体制が確立さ

れたのである。

七年に孤立・中立政策を軌道修

正し、帝国主義からの「援助」を

受け入れることで危機をしのぐと

いう道にころがり込んだのだった

が、ここでも、他の多くの第三

世界諸國と同様に、「援助」は経

済原理とする強烈な民族排外主義

と議会制民主主義の放棄を政治的

特徴とし、国有・国営を経済的特

徴とする組織として、社会主義計画

党が結成され、独裁体制が確立さ

れたのである。

七年に孤立・中立政策を軌道修

正し、帝国主義からの「援助」を

受け入れることで危機をしのぐと

いう道にころがり込んだのだった

が、ここでも、他の多くの第三

世界諸國と同様に、「援助」は経

済原理とする強烈な民族排外主義

と議会制民主主義の放棄を政治的

特徴とし、国有・国営を経済的特

徴とする組織として、社会主義計画

党が結成され、独裁体制が確立さ

れたのである。

七年に孤立・中立政策を軌道修

正し、帝国主義からの「援助」を

受け入れることで危機をしのぐと

いう道にころがり込んだのだった

が、ここでも、他の多くの第三

世界諸國と同様に、「援助」は経

済原理とする強烈な民族排外主義

と議会制民主主義の放棄を政治的

特徴とし、国有・国営を経済的特

徴とする組織として、社会主義計画

党が結成され、独裁体制が確立さ

れたのである。

七年に孤立・中立政策を軌道修

正し、帝国主義からの「援助」を

受け入れることで危機をしのぐと

いう道にころがり込んだのだった

が、ここでも、他の多くの第三

世界諸國と同様に、「援助」は経

済原理とする強烈な民族排外主義

と議会制民主主義の放棄を政治的

特徴とし、国有・国営を経済的特

徴とする組織として、社会主義計画

党が結成され、独裁体制が確立さ

れたのである。

七年に孤立・中立政策を軌道修

正し、帝国主義からの「援助」を

受け入れることで危機をしのぐと

いう道にころがり込んだのだった

が、ここでも、他の多くの第三

世界諸國と同様に、「援助」は経

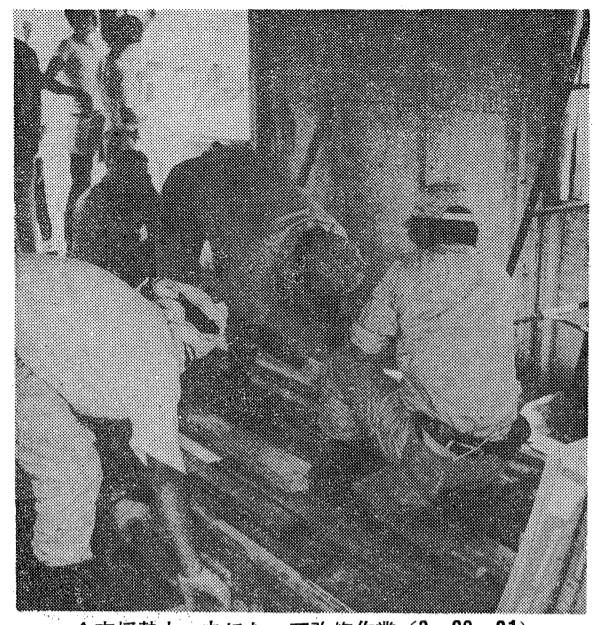
済原理とする強烈な民族排外主義

と議会制民主主義の放棄を政治的

特徴とし、国有・国営を経済的特

徴とする組織として、社会主義計画

党が結成され、独裁体制が確立さ



支援勢力一丸になって改修作業(8・20~21)

本年四月のB滑走路区域本格着工をもって、空港公団は一期用地内全域にその工事範囲を拡大した。

しかしながら、期工事着工以来、年を経ようとする今日、政府・公団が工事区域を拡大すればする程、「九〇年度概成」閣議決定のほのびがまきます明瞭かとなつてゐる。既に何度も暴轟してきた様に、木の根大トンネルはまだ半分しか着手できていないし、谷津の埋め立ても大金堀や天神峯などあちこちでストップしている。

前年度からの繰越金を含めた今八十八年度予算の建設事業費九百八十五億円のうち、発注金額で六月末までに十七%しか消化していないという事実が、九十年度概成が破産しつつあることを何よりも実証している。

一期工事の行き詰まりとは、公団による任意収用攻撃が破綻したことの表現である。一期用地内に生活する反対同盟農民は、事業認定告示以来十九年にわたって収用恫喝の下での切り崩しをほね返し続けている。今日政府・公団が強

調に手をつけている。彼らは木の根・東峰の三方所の一期共用地の周囲を鉄パイプで囲い込み、とりわけ木の根の「桜の共有地」は鋼板フェンスを設置して反対同盟の使用を封殺しているのである。

「管轄権の行使」名目にして「桜の共有地」を事実上封鎖した上で、北原派たままである。

本年四月のB滑走路区域本格着工をもって、空港公団は一期用地内全域にその工事範囲を拡大した。

しかしながら、期工事着工以来、年を経ようとする今日、政府・公団が工事区域を拡大すればする程、「九〇年度概成」閣議決定のほのびがまきます明瞭かとなつてゐる。既に何度も暴轟してきた様に、木の根大トンネルはまだ半分しか着手できていないし、谷津の埋め立ても大金堀や天神峯などあちこちでストップしている。

前年度からの繰越金を含めた今八十八年度予算の建設事業費九百八十五億円のうち、発注金額で六月末までに十七%しか消化していないという事実が、九十年度概成が破産しつつあることを何よりも実証している。

一期工事の行き詰まりとは、公団による任意収用攻撃が破綻したことの表現である。一期用地内に生活する反対同盟農民は、事業認定告示以来十九年にわたって収用恫喝の下での切り崩しをほね返し続けている。今日政府・公団が強

調に手をつけている。彼らは木の根・東峰の三方所の一期共用地の周囲を鉄パイプで囲い込み、とりわけ木の根の「桜の共有地」は鋼板フェンスを設置して反対同盟の使用を封殺しているのである。

（上）秋から来年初頭にかけての闘いは、

第三次強制収用阻む

創り出していく運動

（十一・六招請

状）を開始している。この運動は、九十年度概成が破壊しつつあることを居直り、反対同盟と並んで重要な時期となる。

三重塚闘争にとって極めて重要な時期となる。

その第一は、収用委員会再開を許さず、千葉県・収用委員会開催の大衆的闘争である。その中のひとつが「任意収用の意志がある」との項目である。アソケート書類を添付、更に第三彈では「補償金額」まで御丁寧に書き込んである。

これが努力したがダメでした。

（十一・六招請

用）が実現するまでは、第一次・第二次執行阻止闘争の大高揚によって、千葉県収用委員会は既に裁決申請の出され

た。

五月の開港十周年キャンペーンにおいては、公団総裁秋富は「農民とは話し合いで続けるが、農民の生活と関係のない一期工事範囲を解除するといふ事を想定して、その間に反対同盟への新たな攻撃に出でてきている。

これまでの闘いを成功させると共に、十一・六を第三次強制収用阻止の闘争宣言としている。既に彼らは九〇年度概成に向け、千葉真収用委員会に対するデモンストレーションとも言える、反対同盟地権者、一坪共用者への手紙作戦、個別訪問を開始しており、三重塚闘争は七年の第一次・第二次収用攻撃との対決を迎えている。

そこで彼らは九〇年度概成に向け、千葉真収用委員会に対するデモン

ストラクションとも言える、反対同盟地権者、一坪共用者への手紙作戦、個別訪問を開始しており、三重塚闘争は七年の第一次・第二次収用攻撃との対決を迎えている。

そこで彼らは九〇年度概成に向け、千葉真収用委員会に対するデモン

